

酪農ヘルパー

酪農は毎日牛のお世話をしなければならないため、お休みを取りづらいお仕事です。そこで、お休みを取りたい時に、酪農家に代わって牛のお世話をするお仕事が酪農ヘルパーです。お仕事の内容は牛舎のそうじ、乳しぼり、エサやり、哺乳がメインですが、酪農家によって牛の性格も牛舎もそれぞれ。柔軟な対応が必要です。大変なお仕事ですが「ゆっくり休めたよ、ありがとう」と言ってもらえた時はとてもやりがいを感じます。



このお仕事についたきっかけ

動物が大好きで動物に関わる仕事がしたい、命をいただく畜産業をもっと勉強したいと思いました。学生時代に研修先で会った女性の酪農ヘルパーがカッコよかったこともきっかけです。(酪農ヘルパー:木戸場 真紀子さん)

CHECK! 酪農ヘルパーってどんなお仕事をしているの?

●牛舎のそうじ



その日休みをとる酪農家の牛舎に早朝と夕方に行き、そうじから始めます。牛舎は牛が長く過ごす場所。常にきれいに保ちます。

●哺乳(子牛にミルクをあげる)



子牛が飲みやすいように工夫してミルクをあげます。時には牛の出産に立ち会うこともあり、子牛が元気に大きくなるようにお世話をします。

こんな人も働いています!

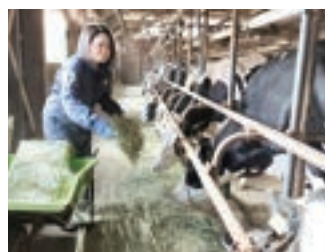
■事務スタッフ(JA職員)

●搾乳(乳しぼり)



乳牛は毎日乳を出します。牛が安心して乳を出せるようにやさしく乳を搾り、夕方と朝しぼった乳をタンクに集め、その乳を集乳車が乳業会社へ運びます。

●給餌(エサやり)



牧草地で刈り取った草や栄養価の高いエサを与えます。エサの中には牛用のトウモロコシや大豆の皮などが入っています。

この会社に教えてもらったよ!

助け合いの精神で酪農家を支えます

岩手県酪農ヘルパー協議会(JA全農いわて)

盛岡市大通1-2-1 ☎019-626-8662

(取材先) 葛巻町酪農ヘルパー利用組合

岩手郡葛巻町葛巻9-35-7 JA新いわて葛巻支所内 ☎0195-66-2039

創業/1990年8月 従業員数/15名



CHECK! 酪農ヘルパー利用組合はこんな仕事もしています

●インターンシップの受け入れ



毎年、学生や社会人を3日~1週間受け入れ、実際に酪農ヘルパーの仕事を体験してもらいます。その他に酪農に関する施設を見学して、自分が搾った乳がどのようにして消費者の手元に届くのかを学んでもらいます。牛をさわったことが無い人でも帰るころにはすっかり酪農のとりこに。何度もインターンシップに参加した学生もいました。

●酪農ヘルパーを広く知ってもらうための活動



新鮮で安全な牛乳を生産するために酪農ヘルパーの役割が重要であることや、酪農ヘルパーとして働いてくれる人を増やすための活動について発信しています。TVCMやSNSも活用して広い世代に知ってもらえるように取り組んでいます。



CHECK! 酪農ヘルパーを知ってもらうための出前授業や職業説明会を実施

岩手県は酪農が盛んな県であるため、13の利用組合があります。葛巻町酪農ヘルパー利用組合では専門学校や農業高校などに出向き、酪農ヘルパーの仕事を知ってもらうため出前授業をしています。酪農ヘルパーに就職した卒業生が質問に答えることもあります。

